

2001年(平成13年)1月11日(木曜日)

豊橋ハートセンター増築起工式

病床数68に拡充

民間の心臓病院で国内最大級

医療法人・澄心会(豊橋市大山町五分取、鈴木孝彦理事長)は十日、心臓疾患専門病院・豊橋ハートセンター増築工事の起工式を行った。

式には関係者ら約三十人が出席。神事後、鈴木理事長は「今回の建物は今以上に立派なもの。中身の充実は、われわれ医療スタッフの努力にかかっている。」

国内だけでなく世界に向けて優れた治療技術の発信に努めたい」とあいさつした。

同センターは十一年五月、前国立豊橋東病院副院長で、国際的な心臓治療の権威者として知られる鈴木理事長が開業。きめ細かい地域医療を目指し、出身地の同市内で独立した。増築工事では、既設病院

の西隣に鉄骨造り四階建て、延べ約四千八百六十平

方坪の新病院を建て、現施設と一体化させる。工費は約九億円。今年九月中旬完成予定。

建物は一階が院長室、事務長室など管理部門を主に、最新の冠動脈造影装置MRIの新規導入に備える検査室、手術の状況を内外に映像で送信できる施設を

備える。

二階は心臓カテーテル室、安静室などのほか、図書室、会議室を備えた医局などを配置。三、四階は計五十四床の病床。全室に太陽光が採光できる設計になっている。また、三階には八床を備えたCCU(冠動脈集中治療室)。四階には六室の特別室など。病床は既設と合わせ総計六十八床となり、民間の心臓病院では国内最大規模となる。

(星野のりこ)



刈り初めの儀式を行う鈴木理事長は豊橋ハートセンターで